

引佐北部中学校実践報告

本校は英語の授業を「国際コミュニケーション科」と名付け、独自のカリキュラムで教育を行っている。国際コミュニケーション科の目標は、『外国語を通じて、異なる言語や文化に触れ、日本や外国のそれぞれの良さや違いを認識し、理解を深める。また、活動や体験を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」等のコミュニケーション能力の基礎を養う。』である。この目標を達成すべく日々教育活動に取り組んでいる。また、特色の中には「ふるさとの良さを発信し、異文化交流する。ふるさどについて学んだことを英語でどう表現するか学び、伝え合う。」というものがあげられる。今回はその特色を最大限に生かした実践の紹介をする。

(1) 活動内容

毎年秋に行われる「みさとパビリオン」という学校行事では、ふるさどについて学んだことや、国際コミュニケーション科で学習したことを保護者や地域の方々に伝える活動を行っている。また、異文化交流を目的に、市内の高校に通っている留学生をはじめ、多くの外国人にも来てもらい、英語での発表を行っている。



今年も中学2年生がチューターとなり、外国人を案内するという役割を担った。授業内で、あいさつなどの日常会話を覚えさせたり、教師が外国人役になり、実際に生徒に英語で校内を案内させたりした。当日、生徒たちは練習通り自信をもって外国人を英語で案内したり、簡単な会話を楽しんだりすることができた。

学校内を案内している様子

Hello.	こんにちは。	First, let's go to ○○section.	はじめに○○課に行きましょう。
Welcome to our school.	ようこそ引佐北部小中学校へ。	This way, please.	こちらです。
We will show you around our school.	私たちがこの学校を案内します。	Follow me, please.	私に付いてきて下さい。
My name is ○○.	私の名前は○○です。	Go up the stairs, please.	階段を上がって下さい。
May I have your name?	お名前を伺ってもいいですか。	This is ○○section.	ここが○○課です。
Nice to meet you.	はじめまして。	Come in, please.	入って下さい。

表1. 2 学習させた英文

中学1年生と3年生は、ふるさどについて学習したことを模造紙やパワーポイントを使ってまとめ、その発表を外国人に向けて英語で行った。ふるさとの学習は学年の枠を超え、縦割りでを行っているため、実際に国際コミュニケーション科の授業も3年生と1年生を合同で数回行い、発表の準備を行った。3年生は1年生に英語の発音やアクセントを教えたり、より良い発表ができるよう、アドバイスを与えたりした。また、本番のように繰り返し発表の練習をさせた。その結果、当日は1年生も自信をもって堂々と英語で発表をすることができた。



英語で発表をしている様子



椎茸の菌打ち体験をしている様子



1年生と3年生が合同で準備している様子

We will tell you about food section.

We study about food in Inasa and make product with it to let people know food in Inasa. This is our product, Shichan powder. It is the powder made from dried shitake mushroom, dried bonito shaving and soon. We made food with shichan powder because we want many people to buy shichan powder. This is the recipe of cookies with shichan powder.

We will tell you about our problem.

We have to get the license when we process food and sell it. We cannot get it, so we can sell only dried food or simple one. Then, we ask you to give us advice to solve this problem. What should we do to make people know food in Inasa? Could you write the questionnaire? If you do so, we want you to try cookies with Shichan Powder for thanks.

発表で用いた英語のスク립ト

(2) 成果と課題

みさとパビリオン翌週、中学生に「英語話者に対してどのようにコミュニケーションしたか」というアンケートを実施した。

① 英語で挨拶した・・・83%

- ・ブースに来たときあいさつした。
- ・呼び込みの際に英語であいさつした。

② 英語で説明した・・・80%

- ・椎茸の菌打ち体験で実演しながらやり方を説明した。
- ・サツマイモのクイズについて出題した。
- ・「アイデアを書いて下さい」とお願いした。
- ・チューターとして校内を案内し、各ブースの紹介をした。
- ・廃油石鹼の作り方について説明した。
- ・井伊直虎の英語のパンフレットを説明と共に手渡した。

③ 英語の質問に英語で答えた・・・51%

- ・椎茸の栽培は植えて何ヶ月で生えますかと聞かれたので5ヶ月と答えた。
- ・ワイルドストロベリーについて尋ねられたので、写真を使いながら答えた。
- ・カブトムシについての質問に答えた。
- ・廃油石鹼の材料について尋ねられたので「水とペットボトルと水酸化ナトリウムと油」と答えた。

④ 英語で日常会話をした・・・43%

- ・アンケートを書いてもらうときにお礼を言った。
- ・自己紹介をした。
- ・「どこから来たの?」と聞いたら「ベトナム」と答えてくれた。
- ・「英語は何歳から勉強しているの?」と聞かれたので答えた。
- ・趣味は何かを質問したら答えてくれた。

アンケートから分かるように、多くの生徒が外国人とコミュニケーションを取ることができた。また、自分の英語が相手に伝わったことに喜びを感じ、もっと外国人と話をしてみたいという生徒が大勢いた。コミュニケーションの楽しさを味わわせ、積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢を養うことができるこの実践は今後も継続していきたい。課題としては、「日常会話をした」と答えた生徒が半数以下であることである。決められた英文だけでなく、何気ない会話もスムーズにできるよう、今後の授業の中で、繰り返し指導していきたいと思う。